

第1章 鬼北町の景観の現状等

1 鬼北町の現状

1) 位置、地形・地物及び土地利用

本町は、愛媛県の西南部に位置し、南予の生活圏の中心である宇和島市に隣接しています。地形的に四方を高月山、御在所山、戸祇御前山、高研山、地藏山などが連なる四国山地に囲まれた盆地で、日本最後の清流と呼ばれる四万十川の支流の広見川がまちの中央部を貫流しています。西部地区においては奈良川、三間川が南下しており、その他にも中小の支流が流下しています。

土地利用としては、本町は総面積の85%近くを森林が占めており、鬼が城山系や成川溪谷など豊かな自然に恵まれ、その間を縫うように四万十川の支流が流下し、その流域には棚田をはじめとする起伏に富んだ田園風景が広がり、それらに連なる里山は野菜畑や特産のユズ畑などに利用され、温暖な気候を利用した多彩な農林業を基幹産業としています。



2) 法規制

(1) 都市計画区域

都市計画区域としては、町域の西部地区の近永地区（鬼北町役場、JR 予土線近永駅、広見中学校、近永小学校を中心とする地区）及び好藤地区、泉地区（出目）の2,687haが都市計画区域として設定されています。

(2) 農業振興地域等

本町の農業振興地域は、町域の東部、南部及び西部の山間部を除いて中央部の大半が指定されており、その中の低地部の河川沿いを中心として農用地が指定されているが、広範に指定されている農業振興地域に比べるとかなり少ない範囲となっています。

(3) 保安林等

本町の保安林は、主に町域の外周部の東部、南部、西部地区が指定されています。

(4) 地域森林計画対象民有林

本町の地域森林計画対象民有林は、低地部の農用地を囲むように指定されています。

(5) 国立公園

本町の西部に位置する「足摺宇和海国立公園」の一部には、成川溪谷休養センター、成川溪谷

キャンプ場、高月温泉が含まれています。

3) 文化財

文化財は地域の景観を形成する重要な要素でもあります。これらは歴史的な景観としても貴重な施設ですが、国指定等の施設は文化財保護法により一定の保護がなされていることから、景観を検討するうえではそのことを考慮することとなります。

なお、本町の景観を検討するうえで文化財保護法に係る国及び県関係の文化財及び記念物は以下の通りです。

(1) 国指定有形文化財及び記念物

区 分		名 称
重要文化財	建造物	善光寺 薬師堂附厨子
記念物	史跡	等妙寺旧境内

■善光寺薬師堂附厨子



■等妙寺旧境内地



(2) 県指定文化財

区 分		名 称
記念物	史跡	岩谷遺跡
記念物	天然記念物	イトザクラ及びエドヒカン

■イトザクラ及びエドヒカン



■岩谷遺跡



(3) 国登録有形文化財

区 分		名 称
有形文化財	建造物	鬼北町庁舎
有形文化財	建造物	井谷家住宅（主屋、蔵、石垣及び土塀、南面石垣、給水用 隧道）
有形文化財	建造物	明星草庵

■ 鬼北町庁舎



■ 井谷家住宅主屋



■ 明星草庵



4) コミュニティ

本町はこれまでの各集落の形成過程等から、6地区（近永、好藤、愛治、泉、三島、日吉）のコミュニティからなり、それぞれに小学校が立地しています。

5) 地域の魅力づくり

第二次鬼北町長期総合計画の基本構想では、以下の4つの魅力づくりを進めることとしています。

(1) にぎわい・まちなか魅力づくり

- ・近永駅周辺の再開発に取り組み、まちの顔となる中心部の魅力を高めます。
- ・まちの中核として、医療、消防、行政など公的機能の充実を図ります。
- ・商業活性化、快適な居住環境の整備によりにぎわいを創出します。
- ・雇用の場の創出のため、企業誘致や既存事業者が事業を拡大しやすい環境づくりに努めます。

(2) やすらぎ・田園魅力づくり

- ・優良農地の保全と耕作放棄地の解消に努めます。
- ・美しい自然にマッチする農村景観の維持・向上を図ります。
- ・農家民宿の開業支援等、グリーン・ツーリズムの促進を図ります。

(3) いきいき・環境魅力づくり

- ・森林の水源涵養機能や豊かな生態系の保持に努めます。
- ・林業・木材産業の活性化を図り、森林資源の循環利用を促進します。
- ・自然エネルギーの導入を検討し、大学等との共同研究を進めます。

(4) ふれあい・観光交流魅力づくり

- ・成川溪谷、節安ふれあいの森、広見森の三角ぼうし、日吉夢産地、市民農園、農業公社、明星ヶ丘文化施設といった施設を核に、観光・交流拠点としての魅力向上に努めます。
- ・国史跡等妙寺旧境内をはじめとする史跡や名所の整備に努め、各施設を結ぶ観光ルートを設定し、遊歩道や自転車道の整備を進めます。
- ・スポーツ施設の整備改修を進め、町民のレクリエーションや健康増進、町外の人々との交流等に活かします。

6) 観光資源

本町の観光資源としては、以下のような資源が全町に分布しています。

<観光スポット>

溪谷美と温泉スポット-----成川溪谷及び休養センター

自然体験とアウトドアスポット-----節安ふれあいの森

歴史散策スポット-----日吉地区の 明星ヶ丘

河川スポット-----四万十川支流

歴史探訪スポット-----岩谷遺跡、等妙寺旧境内、善光寺薬師堂、安森鍾乳洞、明星ヶ丘の井谷邸、明星草庵、武左衛門一揆記念館、泉貨紙づくり、大野作太郎地質館

<その他>

安森鍾乳、金剛滝、轟の甌穴群、広見森の三角ぼうし、日吉産地

<特産品・鬼北の味>

鬼北熟成きじ、ユズ、栗

<イベント>

きほくの里のひなまつり、武左衛門ふる里祭り、でちこんか、子泣かし天狗まつり、四万十源流・広見川上り駅伝大会、せせらぎ魚っちゃんぐ



2 鬼北町の景観特性等

1) 地区区分

景観計画における現況調査では、本町で一般的に使われている以下のコミュニティ単位 6 地区での整理を基本とします。

- ・旧広見町（近永地区、好藤地区、愛治地区、三島地区、泉地区）
- ・旧日吉村（日吉地区）

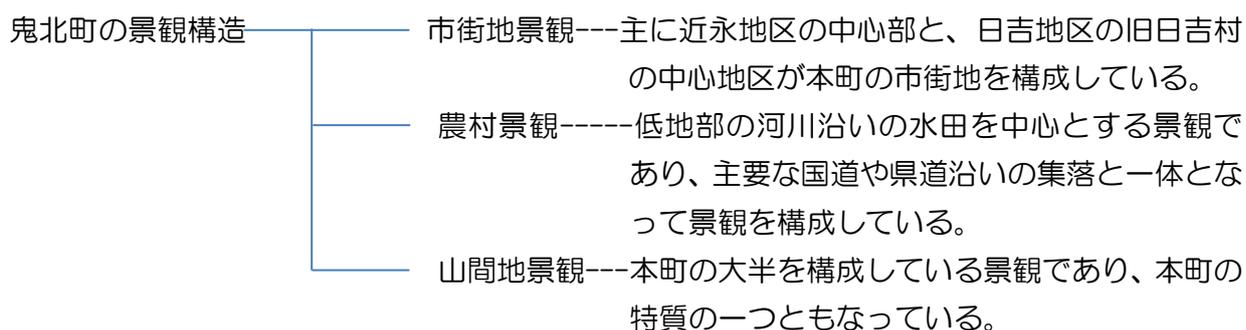


2) 景観の現状

鬼北町全体の景観としては、中央部を流下する広見川、三間川、奈良川等の低地部の周辺に広がる農地と点在する農村集落、近永地区及び日吉地区の市街地、外周部の山間部における針葉樹・広葉樹の樹林地としての景観となっています。

(1) 鬼北町の景観構造

本町全体の景観構造としては、大別して以下の「市街地景観」「農村景観」「山間地景観」に分類できます。



ア 市街地景観

鬼北町での市街地景観は主に2箇所が存在しています。1箇所は、近永地区のJR予土線の近永駅を含み、鬼北町役場、広見中学校、近永小学校、好藤小学校などが立地している地区であり、鬼北町では最も規模の大きい市街地を形成しています。もう1箇所は、日吉地区の鬼北町役場日吉支所や幸田地区のまち並み、さらには日吉明星ヶ丘施設群が立地している地区で、一定のまとまりのある住宅地、商店などが広い範囲にわたり立ち並んでいる地区です。

このように市街地景観は、人々の交流や、生活感の感じられる様相を呈しており、様々な建物が連担して立地し、建物や生活道路などが連担している景観をいいます。

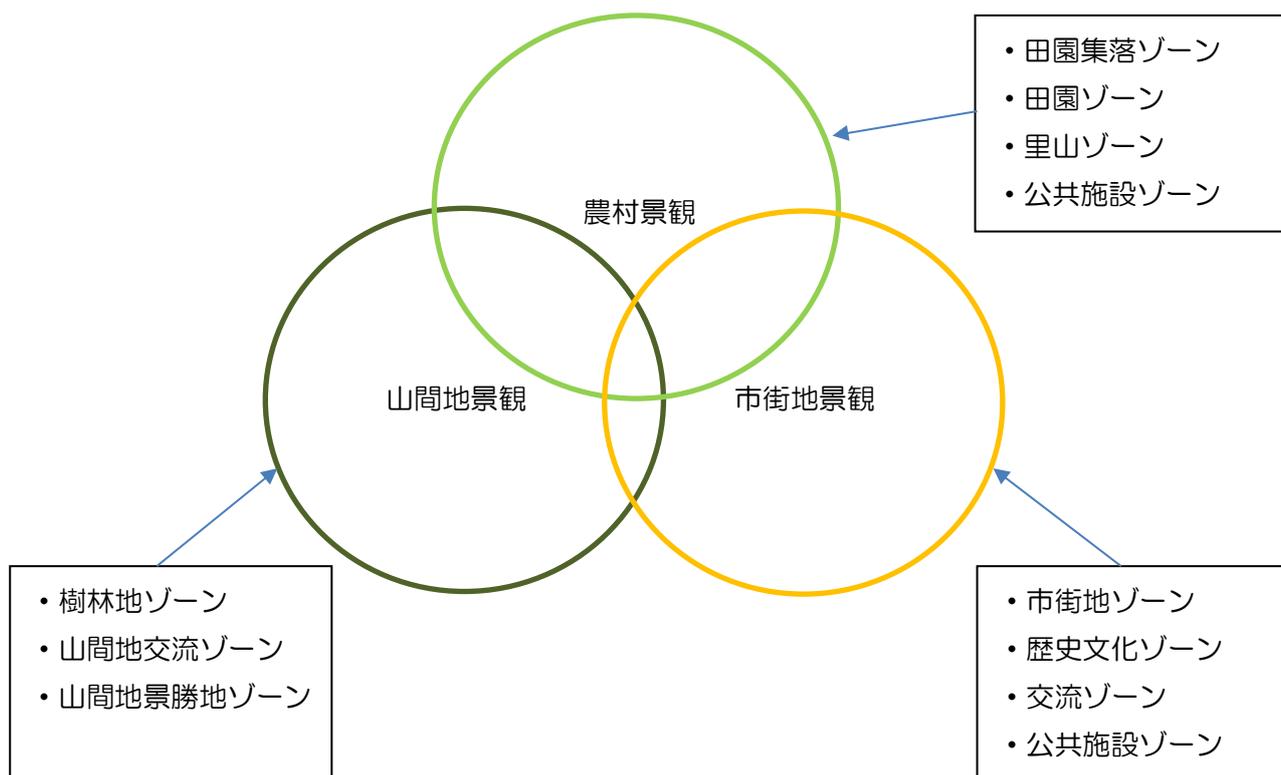
イ 農村景観

鬼北町の農村景観は地形的な特性により大別して2つのケースに分類されます。一つは広見川、奈良川、三間川などの中河川沿いに広がる比較的平坦地となっている農地とその周辺に集落として立地する農家住宅です。もう一つは、小河川沿いに点在する農家住宅とその周辺の斜面地を利用した棚田・段畑などであり、農家住宅とそれらの農地が織りなすように存在しており、農地の確保と保全に懸けた先人たちの思いなどが伝わってきて、地域の歴史を感じさせる光景となっています。

本町において前述の2箇所の市街地景観以外は、これらの農村景観と後述の山間地景観が織りなす景観が大半を占めており、本町の景観上の特徴ともいえます。

ウ 山間地景観

山間地景観とは、鬼北町の町域の大半を占めている山地部の針葉樹・広葉樹などの樹林地やそこに通じる道路・河川などとなっており、さらに、景観を活かしたキャンプ場や宿泊施設なども山間地景観となっています。平場の少ない本町では、町域の多くの範囲が山間地景観といえることから、長期的には、これらの景観資源を有効活用できるような仕組みづくりが必要といえます。



3) 地域特性と景観資源等

(1) 近永地区

ア 地域特性

- 本地区の東部は、鬼北町の中心地区を担う市街地となっています。西部は「足摺宇和海国立公園」に指定されている成川溪谷などの自然景勝地に恵まれた地域となっています。
- 市街地の中心部には古くから立地する「鬼北町役場」が鬼北町の中心的な役割を担っており、近永地区はこの鬼北町役場本庁舎をはじめ、周辺は古くからの建物が存在しています。
- 周辺の「道の駅 広見森の三角ぼうし」は景観上からもユニークな屋根が特徴的であり、前面には「鬼のモニュメント」が建立され、地域のシンボルともなっています。建物内では農産物の販売などが盛んであり、農家の生きがいと町民の交流の場となっています。さらに、近くの鬼北総合公園は、町民の交流と憩いの空間を担っています。
- 本地区は、そのほかに近永小学校、広見中学校、北宇和高等学校があり、児童・生徒の通学の場となっています。
- 主に西部に分布する金剛滝、奈良川の河川及び田園風景、さらには高月温泉、成川溪谷休養センター及び溪谷キャンプ場周辺の樹林等は本町の豊かな自然景観を形成しています。

イ 景観資源

■市街地・農村景観



鬼北町役場



鬼北総合公園



道の駅 広見森の三角ぼうし



等妙寺旧境内地



等妙寺観音堂附厨子

■山間地景観



高月温泉



成川溪谷キャンプ場

(2) 好藤地区

ア 地域特性

- 本地区は、中央部に予土線深田駅及び好藤小学校があり、県道57号線、283号線沿道に住宅地及び水田が広がり、まとまりのある集落を形成しています。その他に東仲地区に集落が形成されています。一方、西部地区は大半が樹林地となっています。
- 地区中央の大本神社は、桜(イトザクラ及びエドヒガン)が境内の景観を際立たせています。

イ 景観資源

■市街地・農村景観



大本神社



大本神社境内の樹林及び樹木

(3) 愛治地区

ア 地域特性

- 本地区は、愛治小学校、愛治公民館、清水郵便局、JA えひめ南愛治支所が主要な公共公益施設となっており、住宅地は国道441号、県道282号線沿道に立地し、集落を形成しています。
- 愛治地区の大宿の棚田は町内に多く存在する棚田の中でも際立っています。
- その他は竜王滝及び国道441号両側の樹林地が特徴的といえます。

イ 景観資源

■ 農村・山間地景観



愛治地区の大宿の棚田



竜王滝

(4) 三島地区

ア 地域特性

- 本地区は、三島小学校及び善光寺薬師堂周辺、国道320号沿道、県道280号線沿道に住宅地が広がり、集落を形成している。地区中央部を広見川が西下し、国道320号が並走しており、その周辺の水田と織りなす景観が本町の特徴ともいえます。
- 中小の河川沿いの両側に広がる樹林地が本地区の特徴ともなっています。
- 地区北部の安森鍾乳洞は夏季シーズンの観光スポットとなっています。

イ 景観資源

■ 市街地・農村景観



善光寺山門



善光寺薬師堂

(5) 泉地区

ア 地域特性

- 本地区は、泉小学校周辺、国道320号、県道280号線沿道に住宅が広がり、集落を形成しています。
- 轟の甌穴群、広見川流域の河川及び田園風景が特徴的といえます。さらに、広見川に沿って岩谷遺跡があり、周辺と融合した景観を形成しています。
- さらには、周辺の樹林地としての連続景観が特徴といえます。

イ 景観資源

■ 市街地・農村景観



広見川河川風景



轟の甌穴



岩谷遺跡

(6) 日吉地区

ア 地域特性

- 本地区は、鬼北町役場日吉支所の周辺に歴史民俗資料館をはじめ日吉明星ヶ丘施設群が立地し、その近くには、古くからのまち並みが存在しています。
- さらに、本地区には、周辺の景観に配慮した道の駅日吉夢産地、日吉中学校、日吉小学校、日吉郵便局、JA えひめ南日吉支所があり、前述の施設等と一体となったまちなみを形成し地域の交流拠点としての役割を担っています。

- ・地区東部の山間部には、節安ふれあいの森が自然体験やアウトドアエリアとして町民に親しまれています。

イ 景観資源

■市街地・農村景観



道の駅日吉夢産地



日吉支所周辺の市街地



日吉明星ヶ丘施設群

■山間地景観



節安ふれあいの森

法規制図面

観光・景観資源位置図

3 上位計画等

1) 第二次鬼北町長期総合計画

景観計画における上位計画としては、第二次鬼北町長期総合計画が考えられるが、その中で景観計画に関係する将来像、地域の魅力づくりとして、以下のようなことが掲げられています。

(1) 将来像

〈将来像〉

自然豊かな 心豊かな 暮らし豊かなまち きほく

〈まちづくりの視点〉-----前進する「躍動のまち」

ふるさとの美しさを守りながら新たな魅力づくりに挑戦する活力あふれるまちへ

〈基本目標〉 美しい自然を守り活かす

〈理念〉 誰もが訪れたい、帰りたいと感じるふるさとづくり

(2) 地域の魅力づくり

豊かな自然環境は、本町の誇りであり、大きな財産です。それを守り育てつつ、快適で利便性に富み、活気に満ちた町民の生活空間を確保するとともに、町外から訪れる人にも楽しく滞在してもらえるよう、地域の魅力づくりを進めていきます。

また、全国で唯一自治体名に「鬼」の字がつく鬼北町ならではの、オンリーワンの取組として「鬼のまちづくり」を推進していきます。

〈やすらぎ・田園魅力づくり〉

- ・優良農地の保全と耕作放棄地の解消に努めます。
- ・美しい自然にマッチする農村景観の維持・向上を図ります。
- ・農家民宿の開業支援等、グリーン・ツーリズムの促進を図ります。